



編集・発行  
 JF 三重漁連指導部  
 TEL:059-228-1205  
 FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

**平成27年度水産予算が決定**

政府は14日、平成27年度の予算を閣議決定した。水産関係予算は、前年比1.1%減の1918億6100万円。先に発表された26年度補正予算(456億6000万円)を含めると、2375億2100万円(22.5%増)となる。また、軽油引取税(1キロリットル当たり3万2100円)課税免除の特別措置を3年延長するなどの税制改正事項も発表された。

予算の内訳は、非公共が1078億5700万円(1.4%減)、公共840億400万円(0.6%減)となっている。柱となっているのは、資源管理の推進や漁業経営安定対策、加工・流通・輸出対策、捕鯨対策、水産基盤整備など10項目。昨夏の概算要求時は9項目だったが、小笠原のサンゴ問題もあり、「外国漁船の操業対策及び沖縄漁業の経営安定」も柱の一つに加えた。

資源管理の推進では、試験的IQのメリット・デメリットの検証やトラフグ等の広域種の資源造成型栽培漁業推進などに取り組む。漁業経営安定対策では政府全体としてエネルギー対策を前面に打ち出したこともあり、省エネ・省燃油関係も多くの予算を確保した。また、新たに柱に加えられた、外国漁船の操業対策および沖縄漁業の経営安定では、漁場の回復、サンゴ資源の影響調査などを実施する。

平成27年度水産関係予算概算決定の概要

平成27年1月  
水産庁

事項	平成26年度 予算額		平成27年度予算 概算決定額 (A)		平成26年度 補正予算額 (B)	(A)+(B)	
	百万円	対前年度比	百万円	%		百万円	%
合計	193,918	191,861	98.9		45,660	237,521	122.5
非公共(合計)	109,390	107,857	98.6		38,939	146,796	134.2
公共(合計)	84,528	84,004	99.4	(※1)	6,721	90,725	107.3
一般公共	83,415	82,891	99.4	(※2)	4,516	87,407	104.8
水産基盤整備	72,149	72,149	100.0		4,097	76,246	105.7
漁港・海岸	704	704	100.0		-	704	100.0
農山漁村地域整備 交付金(水産関係分)	10,562	10,038	95.0		419	10,457	99.0
災害復旧	1,113	1,113	100.0		2,205	3,318	298.1

(注) 1. 金額は関係ベース。  
 2. 許数は、百捨五入のため、編数において合計とは一致しないものがある。  
 (※1) 東日本大震災復興特別会計に計上の一般公共分(被災地復興費分28,093百万円(前年度21,162百万円))  
 を加算して公共の平成27年度概算決定額は112,097百万円(前年度105,690百万円)となり、対前年度比  
 は106.1%となる。  
 (※2) 東日本大震災復興特別会計に計上の一般公共分(被災地復興費分28,093百万円(前年度21,162百万円))  
 を加算して一般公共の平成27年度概算決定額は110,984百万円(前年度104,557百万円)となり、対前年度  
 比は106.1%となる。

平成27年度水産予算概算決定の主要事項

単位:百万円

事業名	27年度 概算決定額	26年度 当初予算額
資源管理の推進 〔IQ方式導入の効果検証、漁業者等が行う資源管理計画の評価・検証、他魚種転換等の経営多角化等の支援〕	1,525 ( - )	
漁業経営安定対策 〔資源管理に取り組む漁業者に対する収入安定対策、燃油高騰等に対するコスト対策を実施〕	36,366 ( 38,553 )	
水産物の加工・流通・輸出対策 〔水産加工施設のE.U・H.A.C.C.P認定促進、国産原材料を利用する水産加工業者の経営安定等を支援〕	1,523 ( 1,043 )	
漁村の活性化・多面的機能発揮対策 〔「浜の活力再生プラン」の策定・着実な実行、漁業者等が行う海難救助、漁場の保全等の地域活動、離島における漁業集落の再生活動等を支援〕	4,066 ( 4,785 )	
強い水産業づくり交付金 〔水産業の強化のための共同利用施設等の整備、漁港・漁村における防災・減災対策の取組等を支援〕	3,500 ( 4,500 )	
漁船漁業・担い手確保対策 〔高性能漁船の導入による漁船漁業の収益性向上、新規漁業就業者の確保、担い手の育成等に対する支援〕	1,403 ( 931 )	
増養殖対策 〔さけ・ますの種苗放流、シラスウナギの大量生産システムの実証化、カワウ・外来魚の被害防止対策や新たな駆除方法の開発等の支援〕	1,370 ( 1,296 )	
捕鯨対策 〔ICJ(国際司法裁判所)判決を踏まえた非致命的調査や妨害行為への対応強化等〕	1,864 ( 1,722 )	
外国漁船操業対策等 〔我が国周辺海域における外国漁船の違法操業に適切に対応するため、漁業取締体制等を構築強化〕	13,344 ( 14,162 )	
漁業金融・漁協経営対策 〔無利子・無担保・無保証人型の融資及び漁協経営対策の推進〕	1,765 ( 1,833 )	
漁場環境保全・技術開発・普及推進 〔トド等有害生物対策、赤潮対策、水産業の省エネ・低コスト新技術の実証、水産業改良普及事業の実施等〕	1,473 ( 1,491 )	
水産基盤整備事業【公共】 〔流通拠点漁港の衛生管理対策や水産資源回復対策、老朽化した漁港施設の長寿命化対策や地盤・津波対策を推進〕	72,149 ( 72,149 )	
漁港・海岸事業【公共】 〔漁業地域における海岸保全施設の整備〕	704 ( 704 )	
漁港関係等災害復旧事業【公共】 〔地震や津波等の被害を受けた漁港、海岸等の災害復旧〕	1,113 ( 1,113 )	

**漁村活性化シンポジウム  
～浜の活力再生に向けて～  
TKP 新大阪ビジネスセンターで開催**

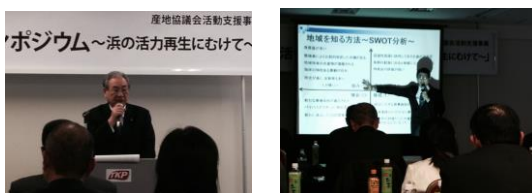
1月20日(火)、TKP 新大阪ビジネスセンターで、「漁村活性化シンポジウム ～浜の活力再生に向けて～」が開催され、漁連、行政関係者など約70名が参加した。

冒頭、全漁連の岸会長の挨拶があり、「浜プランは各浜で早急に整理していただきたい」と述べた。

挨拶後、水産庁の木島 防災漁村課長による「浜の活力再生に向けた取り組み」と題する基調講演が行われ、「浜で何ができるのか、しっかり議論してほしい」、「現状から少し背のびして、整理してほしい」などの呼びかけが行われた。

次に、浜の再生プランの事例発表が行われ、大阪市漁協、兵庫県五色町漁協がそれぞれ作製した浜プランについて説明した。

最後に、浜の活力再生に効果的な6次産業化のポイントについての講演があり、水土舎の麓 部長が、取り組みの実施に向けた体制づくりの説明、優良事例の紹介等について説明した。



**全国カキサミット、かき消費拡大イベントが開催されます！**

1月24日(土)にかき消費拡大イベント、25日(日)に全国カキサミットが、東京で開催される。全国カキサミットは、東日本大震災の影響により延期されてから3年ぶり

の開催となる。

24日のイベントでは、焼きがき1,000食をはじめ、約5,400人分のかき料理を無料で提供される。出展団体・出展品目は以下の表のとおり。

また、詳しく知りたい方は、以下のウェブサイトをご覧ください。

出展団体	出展品目
第9回カキ・サミット実行委員会	焼きがき(1,000食)
【絆ブース】 広島カキの会・宮城県漁協唐桑支所等	かき鍋(2,000食)
宮城県漁協	かき加工品
三重県鳥羽磯部漁協	焼きがき(1,000食)
広島かき協議会	かきフライ(500食)
レインボー食品	かきカレー、かきのクリームスープなど(830食)

消費拡大イベントウェブサイト

<http://pr.gnavi.co.jp/promo/oystersummit2015/>

**【主な予定】**

- 1月23日(金)  
全国女性連事務局会議(東京)  
水産多面的事業事例報告会(東京)
- 1月30日(金)  
黒のり4回汐(松阪・のり流通センター)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。